

令和５年度加美町農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

加美町は、宮城県の北西部に位置し、西は奥羽山脈を隔てて山形県尾花沢市及び最上町、北から東は大崎市、南は加美郡色麻町に接している。

水稻は、「ひとめぼれ」、「まなむすめ」を中心に広く生産が行われているが、西部地域ではもち米「みやこがねもち」の栽培を奨励しており、県内有数のもち団地を形成するなど、世界農業遺産「大崎耕土」の一角として宮城の美味良質米づくりに取り組んでいる。また、管内ＪＡにおいて専用カントリーエレベーターを整備するなど、実需と結びついた飼料用米の生産も行っている。

水稻以外では、転作田を活用した粗飼料の生産・供給体制等の整備による畜産振興を行っているほか、農業生産法人や集落営農組織を中心とした大豆と飼料用米等のブロックローテーションの取組や、ねぎ、加工業務用野菜等の園芸作物の振興も図っている。

しかし、若年新規就農の減少や基幹的農業従事者の高齢化等により、担い手、後継者不足が顕著になっており、イノシシなど鳥獣被害の拡大も課題となっている。また、コロナ禍により拍車がかかった主食用米の需要減少や、これに伴う米価の下落、生産資材、燃料価格の高騰に加え、「５年水張りルール」及び「畑地化」により、今後、交付対象から除外される農地が増えることによる大幅な収入減少も予想されており、これに伴い作り手がいなくなる農地の新たな荒廃化も懸念されている。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

主食用米については、一層の米価下落を食い止めるため、需要に応じた生産とするよう誘導しつつ、経営の複合化による農家所得の向上を図るため、地域振興作物である「ねぎ」、「たまねぎ」、西洋野菜等の生産拡大を推進する。加工・業務用野菜は、需要に即した品目の作付誘導を進めることとするが、生産性向上のため、補助事業を活用した機械・技術の導入を推進し、収益力の強化を図る。

大豆については、麦・大豆収益性・生産性向上プロジェクト等を活用して、団地化の推進、農地の集約化等を図り、生産拡大に取り組むこととする。

また、これまで取組のなかった小麦について、大豆とのローテーションの中で取り入れられないか、次期作以降に向けた検討を進めていく。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

加美町における水田利用は、東部の平坦地域では水稻のほか大豆等の作付けが多く、西部等の山間地域では牧草、ＷＣＳ等飼料作物の作付けが多く行われる状況となっている。また、河川堤外地においては、ねぎや大豆等畑作物の作付けが行われている。

令和３年度～５年度の畑地化重点支援期間においては、農業委員会、ＪＡ等関係機関と連携し、数年以上畑作物のみが作付けされている水田の調査・リスト化を行い、地域の意向を把握しながら国の畑地化支援等を活用するなど、水田畑地化の推進を図ることとする。

令和３年度に行った点検においては、平成２９年～令和３年の５年間に、畑作物のみの作付

けが行われ水張り（水稲作付）が行われなかった水田が676haほど確認された。（令和3年度水活交付対象農地の約4割）その中で、水稲作付（水張り）が可能な水田については、引き続き、水稲を含めた輪作体系への移行を促していくこととするが、すでに転換作物が定着しているなど移行が困難な農地については、振興作物等高収益作物の取組が定着しているほ場を中心に、畑地化促進事業による畑地化を推進していくこととする。

4 作物ごとの取組方針等

（１）主食用米

全国的な主食用米の需要を見極めつつ、販売環境に左右されない産地として生き残るため、高品質、良食味米を安定供給する産地として、実需者のニーズに沿った作付誘導を実施し、加美米の強みである「環境保全米」、「酒米」、「もち米」等、多彩な品種構成による「売れる米づくり」に取り組む。

さらに、新品種栽培の取組により、産消提携米の拡大に努め、最終消費者と強く結びついた産地の形成を目指す。

（２）備蓄米

主食用米の需要量の減少が見込まれる中、主食用米と同様の品種で作付が可能なため、県別優先枠を最大限に活かした取組を図る。

（３）非主食用米

ア 飼料用米

産地交付金を活用し、団地の形成と直播栽培・疎植栽培の導入により作業効率の向上と低コスト化を図るほか、多収品種への転換を推進し、大豆との輪作体系による転作団地の固定化を推進、施肥コスト低減と単収の向上に努める。また、コンタミネーション、不正規流通の防止を徹底するため、専用カントリーエレベーターに全量集荷し、バラ出荷体制の確立による流通コストの低減を図る。さらに、実需からの要望に応え、複数年契約の取組により供給の安定化を図る。

イ 米粉用米

価格が高騰する輸入小麦の代替品としての需要が高まっていることから、産地交付金を活用し、実需（学校給食、地元製粉会社）との結びつきを強化しつつ新規需要の開拓も進め、生産数量の拡大を図る。

ウ 新市場開拓用米

産地交付金を活用し、実需が求める多収性品種での取組により、供給量の確保と低コスト化を図り、販路の拡大を目指していくこととする。

エ WCS用稲

飼料自給率向上のため、畑作物の栽培が困難な地域で水田を利用した自給飼料の増産を図る。また、耕種農家と畜産農家の結びつきを強め、輸入飼料に頼る畜産農家へ安価で安定的に供給可能な地域内での粗飼料供給体制整備に努める。

オ 加工用米

飼料用米、WCS用稲に取り組めない地域へ作付誘導を図り、作付拡大を推進する。また、実

需者からの要望に対応できるよう産地交付金を活用して加工用米のベースとなるもち米の作付拡大を推進し、「もち団地」の維持を図る。

（４）麦、大豆、飼料作物

麦は、特に小麦について、大豆とのローテーション作物として取り入れられないか、検討を進めていく。

大豆については、産地交付金を活用し、認定農業者、集落営農組織等の担い手に農地を集積し、団地化の誘導により生産性の向上と低コスト化を図る。また、暗渠、明渠の施工などによる排水対策を行い、作付するほ場条件の改善を図るとともに、連作障害の回避のため、ブロックローテーションや飼料用米との輪作体系による転作団地の固定化を推進し、品質の向上と収量の安定化を図り、取組面積の拡大に努める。

飼料作物は、牧草について、引き続き団地化を推進し優良粗飼料の確保に努めることとするが、播種から収穫までを行わない年に係る戦略作物助成が減額され、取組面積の縮小が懸念されることから、長年更新されていない草地については更新を促すとともに、必要に応じて他品目への転換、畑地化を促していくこととする。

（５）そば、なたね

「そば」については、実需者との契約に基づき安定的な供給を図るため、産地交付金を活用し、排水対策、複数の収量向上対策によりほ場条件を改善し、収量の安定化と作付面積の拡大を図る。

「なたね」について、取組はない。

（６）地力増進作物

地力増進作物は、産地交付金を活用して取組を推進し、化学肥料や農薬に頼らない生産環境を構築することで、高収益作物や有機農業をはじめとする環境保全型農業への転換を促進する。

本町では、大豆の前作としてダイズシストセンチュウの抑制効果が高いクローバー、有機物の供給効果が高く西部地区に広がる黒ぼく土においてリン酸すき込み量の多いソルガム（ソルゴー）を推奨していくこととする。

（７）高収益作物

産地交付金を活用し、地域振興野菜、加工業務用野菜、西洋野菜等の栽培面積を拡大するとともに、実需との結びつきを強化し、その要望を取り入れた生産・流通体制の確立を図る。また、農業生産法人、集落営農組織等の担い手への集積とともに、国や県の補助事業の活用により、園芸機械導入を支援し作業体系の効率化を推進する。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

7 産地交付金の活用方法の概要

別紙のとおり

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和5年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	2,726.3		2,723.5		2,723.5	
備蓄米	6.6		2.3		2.3	
飼料用米	632.0		617.7		617.7	
米粉用米	14.4		17.1		17.1	
新市場開拓用米	9.8		12.1		12.1	
WCS用稲	265.7		267.1		267.1	
加工用米	50.3		51.9		51.9	
麦	0.0		0.0		0.0	
大豆	342.3		295.6		295.6	
飼料作物	511.5		325.4		325.4	
・子実用とうもろこし	0.0		0.0		0.0	
・青刈りとうもろこし	2.3		0.1		0.1	
・牧草	507.5		325.3		325.3	
・その他	1.7		0.0		0.0	
そば	9.4		7.7		7.7	
なたね	0.0		0.0		0.0	
地力増進作物	0.4		2.9		2.9	
高収益作物	99.0		70.0		70.0	
・野菜	86.7		63.3		63.3	
ねぎ、たまねぎ	33.5		19.2		19.2	
加工用野菜（トマト除く） 西洋野菜	30.8		24.2		24.2	
加工用トマト	3.0		3.2		3.2	
その他の野菜	19.4		16.7		16.7	
・花き・花木	1.2		1.1		1.1	
・果樹	1.4		0.8		0.8	
・その他の高収益作物	9.7		4.8		4.8	
山菜	8.5		4.2		4.2	
その他	1.2		0.6		0.6	
その他	0.0		0.0		0.0	
畑地化	0.0		252.2		252.2	

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	ねぎ、たまねぎ、加工用野菜、西洋野菜 （基幹作物）	重点地域振興作物助成	作付面積	（令和4年度）64.3ha	（令和5年度）54.5ha
2	加工用トマト （基幹作物）	最重点地域振興作物助成	作付面積	（令和4年度）3.0ha	（令和5年度）3.2ha
3	山菜 （基幹作物）	山菜作付助成	作付面積	（令和4年度）8.5ha	（令和5年度）4.2ha
4	野菜、果樹、花き、花木、その他の高収益作物 （基幹作物）	その他作物助成	作付面積	（令和4年度）23.2ha	（令和5年度）19.9ha
5	米粉用米 （基幹作物）	指定品種加算① （米粉用米）	作付面積	（令和4年度）14.4ha	（令和5年度）17.1ha
6	加工用米 （基幹作物）	指定品種加算② （加工用米）	作付面積	（令和4年度）50.3ha	（令和5年度）51.9ha
7	新市場開拓用米 （基幹作物）	新市場開拓用米 多収性品種取組助成	作付面積 10aあたりの収量	（令和4年度）3.2ha （令和4年度）548kg	（令和5年度）4.8ha （令和5年度）615kg
8	そば （基幹作物）	そば収量向上対策助成	作付面積 10aあたりの収量	（令和4年度）9.4ha （令和4年度）66.2kg	（令和5年度）7.7ha （令和5年度）7.0kg
9	大豆 （基幹作物）	大豆生産性向上助成	作付面積 10aあたりの収量	（令和4年度）344.6ha （令和4年度）125kg	（令和5年度）295.6ha （令和5年度）185kg
10	飼料用米 （基幹作物）	団地加算① （飼料用米）	2ha以上の団地化面積 10aあたりの労働時間	（令和4年度）317.5ha （令和4年度）21.0h	（令和5年度）320.0ha （令和5年度）18.9h
11	飼料作物 （基幹作物）	団地加算② （飼料作物）	4ha以上（個人1ha以上）の団地化面積 10aあたりの労働時間	（令和4年度）362.0ha （令和4年度）4.1h	（令和5年度）240.0ha （令和5年度）4.0h
12	大豆 （基幹作物）	団地加算③ （大豆収量向上対策）	団地取組面積 10aあたりの収量	（令和4年度）162.5ha （令和4年度）125kg	（令和5年度）140.0ha （令和5年度）185kg
13	新市場開拓用米 （基幹作物）	新市場開拓用米取組助成【国枠】	作付面積	（令和4年度）3.2ha	（令和5年度）4.8ha
14	そば （基幹作物）	そば振興助成【国枠】	作付面積	（令和4年度）9.4ha	（令和5年度）7.7ha
15	地力増進作物 （基幹作物）	地力増進作物助成【国枠】	作付面積	（令和4年度）0.4ha	（令和5年度）2.9ha
16	新市場開拓用米 （基幹作物）	複数年契約加算（新市場開拓用米） 【国枠】	複数年契約取組面積 作付面積	（令和4年度）3.2ha （令和4年度）3.2ha	（令和5年度）4.8ha （令和5年度）4.8ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:宮城県

協議会名:加美町農業再生協議会

整理 番号	使途 ※1	作 期 等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	重点地域振興作物助成	1	48,000	野菜(別紙1のとおり)	作付面積に応じて支援(実需者等への出荷・販売)
2	最重点地域振興作物助成	1	53,000	加工用トマト	作付面積に応じて支援(作付面積1a以上)
3	山菜作付助成	1	20,000	高収益作物(山菜) ※作物名は別紙2のと おり	作付面積に応じて支援(作付面積1a以上)
4	その他作物助成	1	20,000	野菜、果樹、花き、花木、その他の高収益作 物※作物名は別紙3のとおり	作付面積に応じて支援(作付面積1a以上)
5	指定品種加算①(米粉用米)	1	5,000	米粉用米	指定品種による取組、育苗・移植作業の省力化の等生産性 向上のための取組
6	指定品種加算②(加工用米)	1	8,000	加工用米	指定品種による取組、育苗・移植作業の省力化の等生産性 向上のための取組
7	新市場開拓用米多収性品種取組助成	1	10,000	新市場開拓用米	指定の多収性品種等による取組
8	そば収量向上対策助成	1	10,000	そば	畝立て播種栽培等の収量向上対策の取組
9	大豆生産性向上助成	1	4,000	大豆	排水対策等の生産性向上の取組
10	団地加算①(飼料用米)	1	5,000	飼料用米	集積面積2ha以上かつ、一団地概ね2ha以上
11	団地加算②(飼料作物)	1	5,000	飼料作物(別紙7のとおり)	集積面積 (集落営農組織)4ha以上かつ、一団地概ね1ha以上 (個人・法人)1ha以上かつ、一団地概ね0.5ha以上
12	団地加算③(大豆収量向上対策)	1	8,000	大豆	団地化(4ha以上かつ、一団地概ね1ha以上)、有機物散布
13	新市場開拓用米取組助成【国枠】	1	20,000	新市場開拓用米	作付面積に応じて支援(新規需要米取組計画の認定)
14	そば振興助成【国枠】	1	20,000	そば	作付面積に応じて支援(実需者等への出荷・販売)
15	地力増進作物助成【国枠】	1	0	地力増進作物(別紙9のとおり)	ほ場へのすき込み
16	複数年契約加算(新市場開拓用米) 【国枠】	1	10,000	新市場開拓用米	作付面積に応じて支援(新規需要米取組計画の認定)

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。
※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

(別紙1)

産地交付金助成対象作物・品目一覧表(重点地域振興作物)

加美町農業再生協議会

作物名	分類	備考
ねぎ	野菜	
たまねぎ	野菜	
加工用はくさい	加工用野菜	
加工用にんじん	加工用野菜	
加工用キャベツ	加工用野菜	
加工用えだまめ	加工用野菜	
加工用かぼちゃ	加工用野菜	
加工用たまねぎ	加工用野菜	
加工用だいこん	加工用野菜	
加工用ねぎ	加工用野菜	
西洋野菜※1	西洋野菜	

(内訳)

※1 西洋野菜:サボイ

(別紙2)

産地交付金助成対象作物・品目一覧表(山菜)

加美町農業再生協議会

作物名	分類	備考
その他山菜※1	高収益作物(山菜)	
うど	高収益作物(山菜)	
しどけ(もみじがさ)	高収益作物(山菜)	
ぜんまい	高収益作物(山菜)	
こごみ	高収益作物(山菜)	
行者ニンニク	高収益作物(山菜)	
ワサビ	高収益作物(山菜)	
つくね芋	高収益作物(山菜)	
タラノメ	高収益作物(山菜)	
わらび	高収益作物(山菜)	
ふき	高収益作物(山菜)	
うるい	高収益作物(山菜)	
自然薯	高収益作物(山菜)	
きのこ類※2	高収益作物(山菜)	

(内訳)

※1 その他山菜:アイコ、クワダイ、ノビル、コシアブラ、ウコギ

※2 きのこと類:しいたけ、なめこ、まいたけ、しめじ、エリンギ

トビタケ、万年茸、アガリクス、キクラゲ、ヒラタケ、ハクレイダケ

(別紙3)

産地交付金助成対象作物・品目一覧表
(重点・最重点地域振興作物、山菜以外)

加美町農業再生協議会

作物名	分類	備考
きゅうり	野菜	
トマト	野菜	
なす	野菜	
ピーマン	野菜	
かぼちゃ	野菜	
いちご	野菜	
すいか	野菜	
メロン	野菜	
キャベツ	野菜	
はくさい	野菜	
ほうれん草	野菜	
パプリカ	野菜	
レタス	野菜	
だいこん	野菜	
にんじん	野菜	
さといも	野菜	
れんこん	野菜	
しょうが	野菜	
えだまめ	野菜	
青さやいんげん	野菜	
未成熟とうもろこし	野菜	
食用ばれいしょ	野菜	
食用かんしょ	野菜	
アスパラガス	野菜	
とうがらし	野菜	
ししとう	野菜	
オクラ	野菜	
セロリー	野菜	
カリフラワー	野菜	
ブロッコリー	野菜	
しゅんぎく	野菜	
みつば	野菜	
パセリ	野菜	
シソ	野菜	

作物名	分類	備考
ニンニク	野菜	
ニラ	野菜	
らっきょう	野菜	
ミョウガ	野菜	
かぶ	野菜	
ごぼう	野菜	
やまいも	野菜	
青さやえんどう	野菜	
未成熟そらまめ	野菜	
まくわうり	野菜	
とうがん(冬瓜)	野菜	
食用菊	野菜	
モロヘイヤ	野菜	
ズッキーニ	野菜	
長いも	野菜	
セリ	野菜	
くわい	野菜	
つぼみ菜	野菜	
きくいも	野菜	
あさつき	野菜	
小瀬菜	野菜	
まるいも	野菜	
スナップエンドウ	野菜	
小松菜	野菜	
マコモタケ	野菜	
ヤーコン	野菜	
ガーデンハックルベリー	野菜	
バラ	花き・花木	
宿根アスター	花き・花木	
ヒマワリ	花き・花木	
コスモス	花き・花木	
菜の花	花き・花木	
カーネーション	花き・花木	
ハス	花き・花木	
アヤメ	花き・花木	
れんげ	花き・花木	
キク	花き・花木	
その他花き※1	花き・花木	

作物名	分類	備考
りんご	果樹	
西洋なし	果樹	
もも	果樹	
うめ	果樹	
びわ	果樹	
かき	果樹	
くり	果樹	
いちじく	果樹	
キウイフルーツ	果樹	
ぶどう	果樹	
サクランボ	果樹	
ブルーベリー	果樹	
カリン	果樹	
クルミ	果樹	
ハックルベリー	果樹	
えごま	その他の高収益作物	
小豆	その他の高収益作物	
種苗類※2	その他の高収益作物	
香料作物※3	その他の高収益作物	
薬用作物※4	その他の高収益作物	

(内訳)

※1 その他花き: ゆり、しゃくやく、ききょう、ワレモコウ、オミナエシ、月見草、アルストロメリア、カスミソウ、カンナ、ストック、ガーベラ、トルコキキョウ

※2 種苗類: トマト、ミニトマト、なす、きゅうり、ピーマン、オクラ

※3 香料作物: カモミール

※4 薬用作物: ムラサキ

(別紙7)

飼料作物等の範囲

加美町農業再生協議会

作物名	備考
青刈りとうもろこし	
青刈りソルガム	
青刈り麦	らい麦又はえん麦を含む。またサイレージ化したものを含む。
青刈り大豆	
青刈り稲	
青刈りひえ	
子実用えん麦	
WCS用稲	
わら専用稲	
飼料用かぶ	
飼料用ビート	
飼料用しば	
しこくびえ	
テオシント	
チモシー	
セタリア	
アカクローバ	
シロクローバ	
アルサイククローバ	
アルファルファ	
ガレガ	
オオクサキビ	
トールフェスク	
メドーフェスク	
フェストロリウム	
スーダングラス	
オーチャードグラス	
イタリアンライグラス	
ペレニアルライグラス	
ハイブリットライグラス	
スムーズブロムグラス	
ケンタッキーブルーグラス	
リードカナリーグラス	
バヒアグラス	
ギニアグラス	
カラードギニアグラス	
ローズグラス	
パラグラス	
パンゴラグラス	
ネピアグラス	

(注) 上記の飼料用作物等については、食用に供される畜産物を生産するために飼養される牛、馬、羊、山羊に供される場合に限る。

(別紙9)

地力増進作物の範囲

加美町農業再生協議会

作物名	備考
ソルガム(ソルゴー)	
イタリアンライグラス	
エン麦	
レンゲ	
クローバー	
クロタリア	
ヘアリーベッチ	
ライ麦	
ハトムギ	
大豆	
マリーゴールド	
ヘイオーツ	
ギニアグラス	